

上尾市市民活動支援センター情報誌



むすびん

平成26年
10月
第14号

〒362-0075 上尾市柏座1丁目1番15号
TEL:048-778-1810 FAX:048-778-1820 E-mail:s53500@city.ageo.lg.jp

団地を拠点に地域の子育て応援

～親子パラソルカフェ～

協働レポート

NPO法人ふれあいねっと



【大型紙芝居を楽しむ子どもたち(左)、パラソルカフェのシンボル(右上)、子育て相談コーナー(右下)】

今年度の「協働のまちづくり推進事業」に採択された団体の活動を順番に紹介します。第1弾は「NPO法人ふれあいねっと」と上尾市健康増進課の協働事業「親子パラソルカフェ」です。

東京のベッドタウンの役割を果たしてきた尾山台団地は近年、少子高齢化が進み、今年1月現在で6歳未満の未就学児は99人にまで減少しています。入居当初から団地住民の暮らしの向上とコミュニティーの発展のため活動してきた同団地自治会が、瓦葺地区も含めた地域福祉の向上を目指し立ち上げた「NPO法人ふれあいねっと」。代表の尾上道雄さんは団地自治会会長(事務区長)を兼務。長年、団地自治の牽引役を務めながら福祉事業に力を注いでいます。

今回採択された「親子パラソルカフェ」は、少子化による母親の孤立防止を目的に、紙芝居、折り紙、工作教室などを開催して子どもには遊びの場を、母親には親同士の交流の場を提供。同時に保健師による

子育て相談会やセミナーを実施して、地域(団地)で子育てしやすい環境を作っていこうとする事業です。

取材した9月5日は、団地センター内の「尾山台みんなのひろば」で、隣接する尾山台幼稚園の園児と母親20組40人が大型紙芝居を楽しみました。参加した母親からは「親子で、毎回楽しみにしている」、「子どもたちにとっては祖母の世代の人たちと交流できることに感謝している」などの感想が寄せられました。同事業は毎月1回開催され、団地在住のスタッフや、呼びかけに応じてお手伝いに参加する人たちで運営されています。スタッフの鈴木みち子さんは「折り紙教室では、『妖怪ウォッチ』や『ふなっしー』の折り方をインターネットで学んで教えました。子どもたちの喜ぶ顔を見るのが楽しみ」と話しました。活発な自治会活動が原点となって住民同士で助け合う下地ができて尾山台団地。同事業を支えているスタッフのチームワークの良さが印象的でした。

上尾駅前市民塾 第3期 受講者募集!

市民が講師になっていろいろなお役立ち情報をお届けする「上尾駅前市民塾」の第3期(平成27年1月～3月)の受講者を募集します。

- ▼とき▼内容 右表のとおり
- ▼ところ 市民活動支援センター会議室
- ▼対象 市内在住か在勤の方
- ▼定員 各講座25人
※ただし申し込み多数の場合は抽選
- ▼参加費 無料
※ただし右表の③は保険料50円
- ▼申し込み 住所、氏名、年齢、電話番号、受講希望講座、市民塾をどこで知ったかを、直接または電話、ファクス、メールで平成26年11月30日(日)までに上尾市市民活動支援センターへ

とき	講座名	講師
① 1/10 (土)	点字にチャレンジ ～点字の名刺を作ってみよう～	上田三味さん (点訳“EYE”)
② 2/7 (土)	上尾市の子ども・子育て支援 ～子どもたちが置かれている 状況を知る～	上尾市職員 (子ども未来部)
③ 3/7 (土)	ガイドが語るお地藏様と観音様 ～講義と散歩～	洞派俊英さん (あざおアッピー ガイドの会)

※時間はいずれも14～16時です。

上尾市 市民活動支援センター
上尾市柏座1-1-15 駅東口 プラザ館3階
TEL: 778-1810
FAX: 778-1820
E-mail: s53500@city.ageo.lg.jp



『市民活動推進ガイドブック』を
ホームページに掲載しました

URL: <http://www.city.ageo.lg.jp/page/005114081201.html>

ご覧になる場合は、**検索**が便利です。



上尾市市民活動支援センター

検索

⇒市民活動推進ガイドブック<2014>

市内にどんな団体があるのか?
何か社会に貢献できることはないか?
など市民活動参加のきっかけ作りや、
活動に役立つ情報をいろいろと
掲載していますのでお役立て下さい。



予告

今年度の地域デビュー支援事業

テーマは
『これからのシニアライフ』

団塊の世代やこれから定年を迎えるシニア世代の方々に地域活動を始めるきっかけづくりとしていただくための支援イベントです。

シニア世代のみなさん、長年培った知識や技術を生かしてみませんか!

落語家の柳家喬の字さんの楽しい噺や交流会を予定しています!!

◆日時◆

平成27年1月31日(土)
午後1時30分～

◆場所◆

東武バンケットホール



※詳細は、「広報あげお」12月号などでお知らせします。



楽しく市民に川柳を広げたい

アブセック 楽柳会

「アブセック楽柳会」は、上尾地区を中心に活動している、企業OB組織アブセックの有志による川柳愛好家の会です。ものづくり協同組合会議室で2か月に1回、各回テーマを決めて句会が行われています。会員それぞれが自作川柳2句を提出。作者の名前を伏せて開示し、会員各自が好みの句を選んで投票。代表が寸評を加え、入選2句と特選1句を選びます。

代表の中村充さんは、県主催の川柳講座受講を



きっかけに川柳の魅力に惹かれ、受講生有志で約10年間、勉強会を続けてきました。故郷の鹿児島には、社会や日常を風刺のきいた短い句でやり取りする薩摩狂句という川柳と似た文化があったそうです。「川柳はやればやるほど奥深いが、肩肘張らずに楽しみながら作るのが楽柳会の特徴です」と語っていました。

今年の夏、市役所ギャラリーで開催されたアブセック作品展では、会員自選の川柳15句を展示。傍らには投票用紙と投票箱。どの句も力作ぞろいで、選句に悩む市民の姿が印象的でした。「多くの市民に川柳の楽しさを伝えたい」と、アブセック会員以外の一般の方の入会も歓迎しています。

アブセック楽柳会 代表者：中村充さん

連絡先：048(775)7224 (中村さん)

事務局：048(779)2840 (神部さん)

参加者募集中!!

発表の場を経験することが自信に

朗読の会 さざなみ

「朗読の会さざなみ」は、平成17年、市教育委員会が主催した生涯学習講座「あげおふるさと学園」の卒業生有志によって設立され、現在15人の会員が上尾公民館を中心に活動しています。

朗読を楽しみながら続けることをモットーに、毎月開催される勉強会では、講師を招いて、朗読の呼吸法から間のとり方、声の抑揚など会員一人ひとりが細かくアドバイスを受けながら技術の向上を目指しています。また、発表の場を経験することで自信

につながるという講師の勧めで、市内2か所の高齢者施設でのボランティア朗読会や上尾市産業祭、上尾公民館まつりに参加して市民の皆さんに朗読や紙芝居を披露しています。

代表の小島秀子さんは「朗読を聞いている人達が笑ったり涙をこぼしたりする姿を目にする時、やりがいを感じます。朗読は形容詞一つとっても表現の仕方が変わり、日本語の難しさを実感しますが、学んできたことを表現できるように勉強を続けていきたい」と話していました。

朗読は声に出して読むことで耳がつくられ、聞く機会を重ねることで聞く力も育まれていくそうです。読書の秋。声に出して朗読してみたいか、がでしょうか。



朗読の会 さざなみ

代表：小島秀子さん

電話：048(772)1814



ポイント解説 Q&A

Q. 協働の形態のいろいろ

A. 市民活動推進計画の進捗状況を見るにあたって、協働の具体的な形態について知っておきましょう。形態にはいろいろあって、事業内容や相手方の特性を考え、より効果的な形態を選ぶことになります。

市民団体が中心になって取り組む事業では、行政目的に合っていることや公益性を認めて名義の使用を承認する「後援」や財政的な支援をする「補助・助成」などがあります。

行政が中心となって取り組む事業では、行政が直接行うより効果が期待できる事業の「協働委託」や事業計画を作る場合などの情報交換や意見をいただく「審議への参画」などがあります。

このほか、イベントを実施する際の「実行委員会」や「共催」などもあります。

いずれも役割分担や期間など明確にして協働する必要があります。上尾市の取り組みを見ると、イベントを中心に多く実行委員会方式がとられたり、補助金が支出されたり、各種審議会や協議会には市民レベルの委員が加わり、公共施設の掲示板には名義後援付のポスターが貼られている現状が見いだされます。実に多くの協働事業が取り組まれています。何のために協働するのか、どのような効果を期待するのか、今の方法でよいのかなど見直しをしていきたいものです。

イベント  ボランティア掲示板

～上尾駅前文学講座～

■近松門左衛門の作品にみる江戸の女性■

町人文化が花開いた江戸元禄期。人形浄瑠璃の世界で江戸の女性を描いた近松作品にふれてみませんか。

◇講師：萩原昌好先生

◇日時：11月19日（水）

午後1時30分～3時30分

◇場所：上尾市市民活動支援センター

◇参加費：無料

◇申込方法：当日先着順（30名）

◇問合せ先：「源氏物語を読む会」柏木節子
電話/FAX：048-773-8187

■上尾 de 映画の時間 ■ 「月あかりの下で」

……太田直子監督/2010年/115分/日本……

かつて学校で夢を見失った彼らが、
再びその夢を語る事ができた場所…
それは〈学校〉だった—

埼玉県立浦和商业高校定時制のあるクラスの入学から卒業までの4年間とその後を追ったドキュメンタリー映画です。2010年第84回キネマ旬報ベストテン〈文化映画第2位〉を受賞しました。当日は、浦商卒業生による和太鼓集団「響」によるミニライブも予定しています。

日時：11月9日（日）①10:30～②13:45～

場所：上尾市コミュニティセンターホール

費用：一般 999円、高校生以下 500円

問合せ：上尾に「まちの映画館」をつくる会
(佐藤)070-5545-9821

編集後記

◆5年目に入った支援センターを取り巻く状況も大きく変わりつつあります。4月にはセンターが所属する自治振興課が市民協働推進課に名称変更され、協働のまちづくり提案事業は本格実施を迎え、市民活動推進計画も見直しが進んでいます。事業も人も次のステップに踏み出す秋ですか？（善）（枝）（明）

皆さまからのイベント、ボランティア情報をお待ちしています!!

◎編集・発行 上尾市市民活動支援センター 

開館日：火～日 午前9時～午後9時（日曜は午後5時）まで

休館日：毎週月曜、土・日を除く祝日、年末年始

電話：048(778)1810 FAX:048(778)1820

Eメール：s53500@city.ageo.lg.jp

ホームページ：<http://www.city.ageo.lg.jp/soshiki/s53500/>



情報誌タイトル“むすびん”は、「結ぶ」と「お便り」を合わせており、人、市民活動団体、市などを結びつけたいという思いを込めています。